

2024年度 秋学期 上智大学 グリーフケア人材養成講座 聴講生 募集要項

1. 聴講制度

東京のグリーフケア人材養成講座修了生を対象に、本講座(東京)で開講している授業科目のうち水曜日(オンライン授業)開講の科目について、授業の運営に支障のない範囲で、聴講を認める制度です。

ただし、ご自身が修了した課程までの科目が対象となります。例えば、グリーフケア人材養成課程を修了した方の場合、資格認定課程の科目を聴講することはできません。

修了した課程またはコースの名称	人材養成課程の科目	資格認定課程の科目	専門課程の科目
グリーフケア人材養成課程	○	×	専門課程には聴講対象となる科目はありません。
資格認定課程	○	○	
専門課程	○	○	
臨床コース	○	○	
基礎コース・臨床傾聴士講座	○	×	
基礎コース	○	×	

※聴講生として科目を履修しても、単位の取得および成績評価を受けることはできません。

2. 聴講可能な科目は、1科目のみです。複数科目の同時聴講はできません。

3. 聴講できる科目は、以下7.の聴講開放科目一覧に記載されている科目のみです。

4. 出願期間・出願方法

出願期間：2024年9月4日(水)～9月11日(水)23時59分

出願方法：以下のURLからMicrosoft Formsにアクセスし、「聴講生願書」に必要事項を入力の上、送信してください。

<https://forms.office.com/r/Vtuguq6xDJ>

5. 決定通知

2024年9月13日(金)に、メールにて聴講を許可した科目の決定通知を連絡いたします。その際に、受講料の納入方法も説明いたします。

6. 聴講料の納入

2024年9月13日(金)から9月18日(水)までの間に、聴講料(1単位あたり12,000円)を納入いただきます。1科目24,000円となります。

納入いただいた聴講料は、当該科目が開講中止となった場合を除き、返還いたしません。

7. 聴講開放科目(2024 年度秋学期【東京】)

※聴講可能な科目は、水曜日開講の授業で、すべてオンライン授業(Zoom)で行います。

※聴講可能な科目は、輪講形式で行います。各回の担当教員については、シラバスを参照してください。

課程	曜日	授業時間	科目名	講義回数	単位数	コーディネーター
人材養成	水	18:30~20:00	キリスト教人間学	15	2	寺尾 寿芳、西平 直
		18:30~20:00	スピリチュアルケア原論	15	2	葛西 賢太
資格認定	水	18:30~20:00	先端医療・緩和医療	15	2	水嶋 章郎

※「キリスト教人間学」と「スピリチュアルケア原論」は、後から録画したものを視聴することができます。

(授業日から 60 日間視聴可能)

※「先端医療・緩和医療」は、録画視聴できません。

【2024 年度秋学期授業日程】

【秋学期】

授業回数	水曜開講日
1	9月25日
2	10月2日
3	10月9日
4	10月16日
5	10月23日
6	10月30日
7	11月6日
8	11月13日
9	11月20日
10	11月27日
11	12月4日
12	12月11日
13	12月18日
14	1月8日
15	1月15日

課程	グリーンケア人材養成課程		
科目名	キリスト教人間学		
開講年度・学期	2024年度 秋学期		
履修年次	1年次		
開講曜日・時限	水曜日 6時限		
担当教員	寺尾寿芳（コーディネーター）、西平直（コーディネーター）、山岡三治、鈴木伸国、原敬子、酒井陽介、佐藤啓介、大柴譲治		
講義概要	<p>上智大学の教育理念を伝える科目。 特に、グリーンケア研究所の講義科目としてのキリスト教人間学では、キリスト教のスピリチュアリティと、その様々な展開また歴史社会とのかかわりについて理解を深める。そこから近代的人間の特徴と課題を明確化すると共に、そこに求められるスピリチュアルケアを考察する。 本講義は特にキリスト教の理論と実際という両側面に焦点を当てた内容で構成されている。つまり、キリスト教という宗教に内包される抽象的、論理的思考方法を踏まえたうえで、多様なかたちで人の現実と関係し、人の癒しと救済を志向しているかが概観される。まずはキリスト教理解の基礎にある聖書の知識を学び、続いてキリスト教の人間理解を哲学や心理学との接点から理解する。最後に宗教文化の諸事象と交叉する形で、キリスト教の人間観が示す展開可能性を探求する。なお、諸宗教のスピリチュアリティの詳細については、講義科目「宗教学」「死生学」において言及する。</p>		
授業目標	1) 上智大学で学ぶものとして、キリスト教の人間観を理解する。 2) キリスト教が西欧の文化・学問・思想に与えた影響について理解する。 3) キリスト教のスピリチュアリティが養うケアの本質についての議論を理解する。		
評価	学期末レポート		
授業計画		担当	内容
	第1回 (9/25)	西平	なぜ神は助けないのか ―神義論から学ぶこと
	第2回 (10/2)	大柴	胃がビクビク動く?! ～ CPEで学んだこと＝「はらわた」で聴くということ
	第3回 (10/9)	大柴	逐語会話記録 (Verbatim) の検討～ナウエン『傷ついた癒し人』より
	第4回 (10/16)	原	神学的リフレクション (1) ――いのちを神との関係でみる方法
	第5回 (10/23)	原	神学的リフレクション (2) ――わたしと神との関係でみる人生
	第6回 (10/30)	鈴木	キリスト教の哲学的人間観(1) 「たましい」について
	第7回 (11/6)	鈴木	キリスト教の哲学的人間観(2) 「ペルソナ」について
	第8回 (11/13)	酒井	キリスト教の霊性 (1) キリスト教における霊性とは
	第9回 (11/20)	酒井	キリスト教の霊性 (2) 現代の霊性の紹介
	第10回 (11/27)	佐藤	キリスト教における生と死―死と悲しみをめぐって
	第11回 (12/4)	佐藤	キリスト教における生命観―尊厳死と自死を中心に
	第12回 (12/11)	寺尾	祈る―この世を生きる人間 (1)
	第13回 (12/18)	寺尾	坐る―この世を生きる人間 (2)
	第14回 (1/8)	寺尾	集う―この世を生きる人間 (3)
第15回 (1/15)	山岡	キリスト教の儀礼 (sacrament・秘跡) の人間学的な意味	
教科書・参考書	参考書： 『カトリック教会の教え』（日本カトリック司教協議会）カトリック中央協議会、2003年 ISBN:978-4-87750-106-8 『イエスとその福音』（岩島忠彦）教友社、2005年 ISBN：978-4-90221-113-9 『ラウダート・シ とともに暮らす家を大切に』（教皇フランシスコ）カトリック中央協議会、2016年 ISBN：978-4-87750-199-0		

課程	グリーフケア人材養成課程		
科目名	スピリチュアルケア原論		
開講年度・学期	2024年度 秋学期		
履修年次	2年次		
開講曜日・時限	水曜日 6時限		
単位数	2単位		
担当教員	葛西賢太(コーディネーター)、栗原幸江、伊藤高章、大村哲夫、井口真紀子		
講義概要	<p>グリーフケアが、人生に不可避な様々な喪失体験に伴う心の反応の理解とケアの学問的実践的領域であるのに対し、スピリチュアルケアは、すべての人に本来備わっているスピリチュアリティとその働きを内省し実践する領域と考えられる。最終学期の科目として、これまでの座学と演習の学びを再統合する機会を提供する。スピリチュアルケア提供者とケア対象者との関係性への総合的理解を目指す。</p> <p>欧米の近年の研究は、スピリチュアリティを： 「スピリチュアリティとは人間のあり方の本質に関わる、力動的な一側面である。人びとは、スピリチュアリティを通して、究極的な意味・目的・超越を探し求め、またそれを通して、自己・家族・他者・コミュニティ・社会・自然・大切にすべきもの・神聖なものとの関係を経験する。スピリチュアリティは、信仰・価値観・さまざまな伝統・さまざまな実践を通して表現される。」(Puchalski, C., et al. "Improving the Spiritual Dimension of Whole Person Care: Reaching National and International Consensus," <i>Journal of Palliative Medicine</i>, 17(6), 2014, pp.1-15.) と定義するが、日本文化における、また医療領域以外でのこの定義の妥当性も含め、比較文化的・思想的・理論的・実践的な視点等+B25から、スピリチュアルケアの検討を図る。</p> <p>適宜、ディスカッションの時間を設け、社会人受講生の経験を分かちあい、授業内容の深化を図るとともに、学びの内容がそれぞれの現場にどのような意味を持っているかを検討する。</p>		
授業目標	<p>1)スピリチュアルケアの諸概念を理解する。 2)スピリチュアルケア提供者のあり方を理解し、課題を検討する。 3)スピリチュアルケアにおいて、関連する諸問題にも配慮する視点を身につける。</p>		
評価	学期末レポート		
授業計画	授業日程	担当	内容
	第1回 (9/25)	葛西	イントロダクション、スピリチュアルケアの位置づけ(1)
	第2回 (10/2)	葛西	スピリチュアルケアの位置づけ(2)
	第3回 (10/9)	葛西	スピリチュアルケアの位置づけ(3)
	第4回 (10/16)	葛西	スピリチュアルケアの位置づけ(4)
	第5回 (10/23)	伊藤	スピリチュアルケアの理論(1)
	第6回 (10/30)	伊藤	スピリチュアルケアの理論(2)
	第7回 (11/6)	伊藤	スピリチュアルケアの理論(3)
	第8回 (11/13)	栗原	スピリチュアルケアの実践－緩和ケアとスピリチュアルケア(1)
	第9回 (11/20)	栗原	スピリチュアルケアの実践－緩和ケアとスピリチュアルケア(2)
	第10回 (11/27)	栗原	スピリチュアルケアの実践－緩和ケアとスピリチュアルケア(3)
	第11回 (12/4)	井口	専門職とスピリチュアルケア(1)
	第12回 (12/11)	井口	専門職とスピリチュアルケア(2)
	第13回 (12/18)	大村	スピリチュアルケアをかんがえる(1)
	第14回 (1/8)	大村	スピリチュアルケアをかんがえる(2)
第15回 (1/15)	大村	スピリチュアルケアをかんがえる(3)	
教科書・参考書	<p>参考書:アーネスト・カーツ『アルコールクス・アノニマスの歴史』(明石書店) ISBN:978-4-7503-5076-9 瀧口俊子他『共に生きるスピリチュアルケア』(創元社) ISBN:978-4-422-11773-7</p>		

課程	資格認定課程		
科目名	先端医療・緩和医療		
開講年度・学期	2024年度 秋学期		
開講曜日・時限	水曜日 6時限		
単位数	2単位		
担当教員	水嶋章郎(コーディネーター)、渡邊心、加藤俊介、鹿間直人、吉川征一郎、井関雅子、奥出有香子、阿瀬寛幸、奥野滋子、高木辰哉、田嶋美幸、高橋啓示、藤村純也、北出真理		
講義概要	我が国の先端医療・緩和医療の現状を概説する		
授業目標	スピリチュアルケア／グリーフケア担当者として医療現場でチームの一員として働く際に心得ておくべき、今日の医療のレベルをわきまえておく		
評価	出席およびリアクションペーパー提出状況によって評価する ※状況によりレポート提出を課すことがある		
授業計画	授業日程	担当	内容
	第1回 (9/25)	水嶋	我が国の緩和医療の現況
	第2回 (10/2)	渡邊	救急医療
	第3回 (10/9)	加藤	薬物療法
	第4回 (10/16)	鹿間	緩和的放射線治療
	第5回 (10/23)	吉川	手術療法、低侵襲手術、消化器癌
	第6回 (10/30)	井関	がんサバイバーの経験する疼痛と緩和法
	第7回 (11/6)	奥出	がん看護～リンパ浮腫のあるがん患者の看護を通じて～
	第8回 (11/13)	阿瀬	リハビリテーションの魔法
	第9回 (11/20)	奥野	緩和医療・在宅医療「喪失と共に生きる人たちに寄り添うということ」
	第10回 (11/27)	高木	整形外科、がんの運動器診療
	第11回 (12/4)	田嶋	緩和に使う薬の知識
	第12回 (12/11)	高橋	緩和ケアと臨床心理学
	第13回 (12/18)	藤村	小児科医療の特性と小児がん
	第14回 (1/8)	北出	妊孕性温存療法
第15回 (1/15)	水嶋	総括、緩和医療の将来	
教科書・参考書	参考書:『患者さんと家族のための がんの痛み治療ガイド増補版(2017)』 日本緩和医療学会 緩和医療ガイドライン統括委員会 (編集)ISBN: 978-4-307-10186-8		